

スキーオリエンテーリングがいよいよシーズンイン。雪を求めて貪欲に滑りこむ。

恒例となった初滑り合宿

11月23日勤労感謝の日を含む連休は毎年恒例となった北海道での初滑り合宿だ。例年この合宿に合わせるかのように北海道・東北地方は大雪に見舞われ、今年も行き的高速道路が通行止めになるほどの悪天候だった。途中で高速道路を降ろされたため、予定していた八戸発のフェリーにはどう考えても間に合わなくなった。熟練者武石さんの判断で、急遽ルートを変更して青森-函館間のフェリーを使い北海道へと向かった。他の参加者は大きなトラブルもなく無事に現地入りできたようだ。

合宿初日から十分な積雪のもと、新雪の上を気持ちよく滑ることができた。雪の上を滑るのは5月の連休以来だから、ちょうど半年ぶり。しかし、その半年が数年ぶりかのような懐かしさを覚えた。雪の上を滑るというのは、これほど気持ちがいいことだったのかと思えた。この感触は自転車やローラースキーで風を切るのとも違い、スキー独特の味だと思う。

初滑り合宿の最大の目的は雪に慣れること、スキーの感覚を思い出すことだ。まずは各々のペースでじっくり滑り身体を慣らした。2日目以降は正しいフォームで滑れているか、どこをどうなおしたらいいのかを具体的に、私の視点からアドバイスも行った。スキーでは正しいフォームを身に着けることがとても重要であり、上達への近道だ。雪上で説明しきれない細かな身体の動き、姿勢についてはホテルの廊下を使ってレクチャーを行った。

スケータリングのテクニックは奥が深い。代表的な走法であるスーパースケータリング一つとっても様々なやり方があると思う。それはコースの傾斜、雪質によっても変わってくるし、その人のパワー、体型によっても違いが生じる。まずは基本をマスターし、それができたら自分なりに応用・研究を重ねていきたい。



合宿参加者は合計10名。4日間の滑走距離は100kmを越えた。

企業、アスリートとの交流

アスリートの支援活動を行っている会社BLUETAG(ブルータグ)の結団式・懇親会に参加するため、東京へ向かった。今年から私も、ブルータグの支援対象アスリートの仲間に入れていただきブログを運営しているが、その第一回目ともいえる集まりが行われたのだ。支援して下さる企業の方々やメディアの方々も集まるということで、出発前夜、即席で名刺を作って臨んだ。肩書きは勝手に「JAPAN SKI ORIENTEERING」と名乗って。

司会進行は、TVジャンクスポーツのナレーションをしている方だったらしい。プロの話し方、声はやはりかっこよかった。フォトセッションもあり、会社名が入ったボードを背にしての写真撮影はちょっぴり有名人にでもなったかのようなだった。

メディア向けの結団式の後は、サポート企業の方々やアスリートたちとの懇親会が行われた。立食形式で食事を食べながら行われたのだが、ほとんど食べ物を食べる余裕もなく、名刺交換とスキーオリエンテーリングの説明に汗を流した。なれない営業(?)はかなりエネルギーを消耗したが、今までスキーオリエンテーリングというスポーツを全く知らなかった方々にも、こういうスポーツがあるということを知っていただけただけで収穫だ。

また、競技は違えど、マイナーなス

ポーツを第一線でやっているアスリートとも知り合いになれ、情報交換もできた。やはり金銭的に恵まれたスポーツはごくごく僅かであり、それ以外のほとんどのスポーツは自分たちで活動費や遠征費を工面しているようだった。海外遠征時の荷物・器具の輸送にも私たちと同じく苦労しているとのことだった。

懇親会が終わってからは東京駅で量の割りに値段が高い親子丼を食べ、夜行バスで帰路についた。やっぱり東京は物価が高いな~

(堀江守弘)

